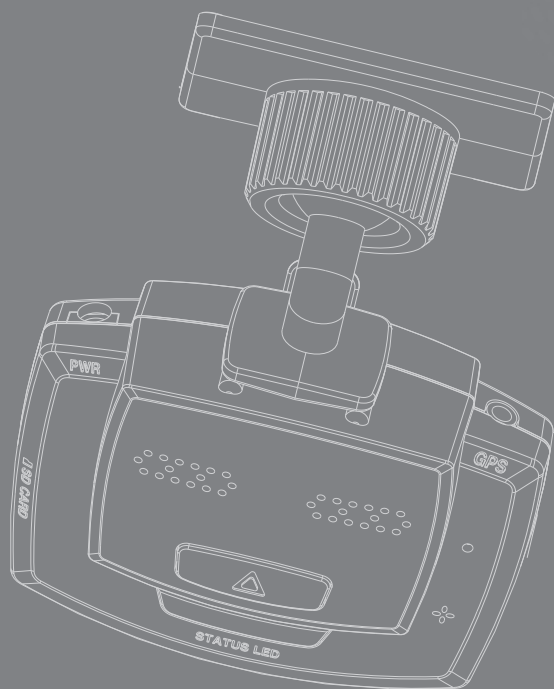


AMEX-A04HD ドライブレコーダー

取扱説明書



※ 製品を安全かつ正しくお使い頂くため、
あらかじめ本書をよくお読みになり内容を
確かにご理解の上ご使用してください。

※ 製品の機能とデザインは品質及び機能向
上のため事前予告なしに変更される場合
があります。

目次

安全のための注意事項	3～6
1. 製品の特徴	7
2. 商品構成一覧	8
3. 車両設置方法	9
1. 本体とブラケットの脱着	9
2. 取付位置	10
3. 推奨設置位置	10
4. 配線方法	11
4. 各部名称及び機能	12
5. MICRO SD カードの挿入及び取り外し	13
1. MICRO SDカードの挿入方法	13
2. MICRO SDカードの取り外し方法	13
6. 使用方法	14
1. 電源 ON/OFF	14
2. 映像録画	14～15
3. 機能ボタン	16
4. リアルタイム映像確認	16
5. 音声ガイダンス詳細	17
6. LED点灯色詳細	17
7. 専用ビューアー	18
1. 専用ビューアープログラムインストール方法	18～20
2. 専用ビューアー使用方法	21
3. 専用ビューアー環境設定	22～23
8. 製品の仕様	24
9. Q&A 故障かなと思ったら・・・	25
＊保証規定（製品保証書）	26

安全のための注意事項

本製品は車両の走行映像を記録して運転者の安全運行のための心構えと未然の事故予防、事故発生時の事故状況についての参考資料として用いられる安全運行の補助製品であります。ここに記載した注意事項は製品の誤った使用により発生する事故の危険性及び財産上の損害を予め防止して使用者が安全に製品を使われるようにするための事であり、使用者の陥りやすい誤った取り扱いの例を「警告」と「注意」で表示しました。製品使用前に内容を充分熟知してからお使いください。



警告

使用者が深刻な傷害及び死亡を被る恐れがあるため必ず守るべき事項を表します。



注意

使用者の軽傷や製品の損傷が発生する可能性がある場合で取り扱いに注意が必要な事項を表します。



警告



製品設置は必ずエンジンを止めてから行ってください。

—感電及び故障の原因になります。



運転中には製品を操作しないでください。

—交通事故の原因になります。安全な場所に停車してから操作してください。



動作中の製品のスピーカホールなどの隙間にピンや針など金属物を入れないでください。

—火災、感電及び製品故障の原因になります。



製品を任意に分解、修理、改造しないでください。

—感電及び製品破損の原因になります。製品に異常が見付かった際は、発売元までご連絡ください。



真夏や真冬の際には製品を車両から取り外して保管してください。

—密閉された車両内に製品を長時間保管する場合、製品の誤動作や故障の原因になります。



製品の規定電圧以外の電圧を用いて使用しないでください。

—製品の電源連結時には必ず同封した 12V~24V出力専用の電源ケーブルを使用してください。規定電圧以外の電圧にての使用及び設置の場合、爆発及び故障の原因になります。



製品から煙が立ったり燃える臭いがしたりする時は使用しないでください。

—火災の危険がありますので直ちに使用を中止して販売店までご連絡ください。

安全のための注意事項



長時間使わない場合、常時電源を本体から分離してください。

—車両バッテリーの放電及び火災の原因になります。常時電源ケーブルを連結する時は必ず設置専門店の依頼してください。
設置専門者がでない人が任意に連結時故障及び火災の原因になります。



本製品に同封された規格品以外の構成品は使わないでください。

—同封された規格品以外の構成品を使う場合、故障と事故発生の原因になります。



製品をガラス面にしっかり取り付けてください。

—製品をガラス面にしっかり取り付けなかった場合、製品がガラスから取り外されて運行中に交通事故が発生することがあります。



注意



製品に強い衝撃を与えないでください。

—衝撃によって製品が破損するか故障の原因になります。



製品のカメラレンズあたりはいつもきれいにしてください。

—カメラレンズあたりが異物（指紋、埃）などで汚染した場合、録画映像の画質が劣ります。軟らかい布を使って定期的に拭いてください。



前面のガラスに濃いコーティングとかメタルコーティングが施工された車両はコーティング部分を避けて設置してください。

—録画の画質が劣る恐れがあります。



製品の近くに磁性の物を置かないでください。

—製品の誤動作及び故障の原因になります。



録画場所及び光源の灯かりが急変する場合、録画映像の画質に差があります。

—トンネル進入出時のように急激に明かりが変わったり、逆光が強いところなどの条件では録画映像の画質が劣ることがあります。



安全のための注意事項



製品の付着位置が変わった時、本体を調整してカメラ角度を再確認してから使用してください。



与えられた衝撃が弱い場合、自動でイベント録画が出来ない場合もあります。
—この場合、機能ボタンを用いて手動でイベント録画を行ってください。



定期的に録画映像を確認してください。
—録画された映像を定期的に確認して、製品の正常動作及びMicro SDカードの状態を確認してください。
異常が見受けられる場合には、製品の使用を中止して発売元までご連絡ください。



Micro SDカードは映像録画に必須の部品で使用の際、下記の注意事項を熟知の上、ご使用ください。
Micro SDカードに記されたデータ損失及び破損に対してはどんな場合でも一切の責任を負いません。



規格品のMicro SDカードだけを使用してください。
—非規格品のMicro SDカード使用時、データ損失及び製品故障の原因になります。



Micro SDカードを差し込む時、方向に留意して最後まで押し入れてください。
—Micro SDカードが正しく差し込まれないと誤動作の原因になります。



Micro SDカードを本体から取り出す時は、必ず電源を消してから行ってください。
—電源が入った状態でMicro SDカードを取り出す場合、データ損失の原因になります。



Micro SDカードを任意に分解及び改造しないでください。
—Micro SDカード内のデータ損失及び製品故障の原因になります。



Micro SDカードは消耗品ですので一定の使用期間が経つとメモリの一部が損傷されて正常な録画が出来ない場合があります。
—録画映像を常に点検して、定期的に(週1回)フォーマット(FAT32形式)し、使用してください。
—正常な使用が出来ない場合には新品に入れ換えてください。



重要なデータの場合、必ずMicro SDカード以外の媒体に別途保管してください。
—長期間保存したい重要なデータは別途に複写して安全に保管してください。



Micro SDカードを別途購入して使う場合、動作可能なMicro SDカードなのか確認の上、購入してください。
—本製品は32GB(Class 10以上推奨)までご使用できます。

安全のための注意事項



内蔵バッテリーに関して下記の注意事項を熟知してください。下記の注意事項を守らず発生した問題に対して当社は一切の責任を負いません。



内蔵バッテリーは電源遮断時、安全に録画ファイルを保存するための補助電源であるため、必ず主電源をつなげて使ってください。
ー主電源が繋がっていない状態で、内蔵バッテリーのみでの動作は出来ません。



バッテリーは消耗品であるので、約6ヶ月以後から徐々に動作時間が縮まることがあります。(使用環境により異なる)



長時間直射日光にさらしたり、温度が急変する場所に放置しないでください。
ー夏季に車内密閉された空間などに放置する場合、バッテリーの発熱、膨張などによつての爆発の恐れがあります。
長期間使わない場合は直射日光を避けて通風がよいところに保管してください。



長期間使わない時は、バッテリーから漏液が流れ出ることがあります。
ーバッテリーの漏液が肌に付いた時は流水で十分洗ってください。もし、目に入った時には絶対に揉まずに水で洗った後、専門医の診察を受けてください。

録画についての注意事項

- ・本機は自動車などの事故における証拠として、効力を保証するものではありません。
- ・本機はすべての状況下で録画を保証するものではありません。
- ・本機の故障や使用による障害、また録画した映像の破損や損傷によって生じた障害は、当社は一切の責任を負いません。
- ・本機の動作を確認するため、急ブレーキなど危険な運転はおやめください。
- ・本機で録画した被写体は、プライバシーの侵害となる場合があります。取扱にご注意ください。
- ・LED方式の信号機では録画がチラつくことがあり、色の識別ができない場合があります。それにより生じた損害は、当社は一切の責任を負いません。
- ・走行中に本機を操作したり、LEDランプを注視しないでください。
- ・録画の条件により、録画フレームレートが変わる場合があります。

取り付けについての注意事項

- ・本機は、本書に従って、正しく取り付けてください。
- ・誤った取り付けは、道路運送車両法の保安基準に違反する場合があります。また交通事故やケガの原因となります。
- ・他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコン等の近くで使用すると、影響を受けたり、与えたりする場合があります。

アイドリングストップ車での使用について

- ・一部のアイドリングストップ車では、再始動時に電源確保のため各部分への供給電圧が低下することがあります。これにより本体の電源が落ちる場合があります。

I 製品の特徴

- ・走行映像は3種類のモードで録画保存
 - 常時録画(エンジンスタートと同時に録画がスタートします)
 - 衝撃録画(外部の衝撃時は別ファイルで保存されます)
 - 緊急録画(手動により別ファイルで保存されます)
- ・駐車中映像は2種類で録画保存(常時電源+ACC電源接続時に有効)
 - モーション録画(駐車中、モーション検知時に保存されます)
 - 衝撃録画(録画中、衝撃検知時に録画されます)
- ・広角 125° 150万画素CMOS Camera
- ・映像には音声も同時録音(On/Off)
- ・3G衝撃センサー搭載(前/後、左/右、上/下衝撃感知及び記録)
- ・MicroSDカード使用(最大32GBまで対応)
 - 録画された映像がMicroSDカードの容量を超える場合、古い映像から上書き保存されます。
- ・非常用バッテリー搭載
- ・DC12V/DC24V車両対応電源
- ・GPSアンテナ搭載(Google Mapと連動)
- ・時刻情報の保存
 - GPS受信による自動取得
 - 専用ビューアによる手動取得
 - (※出荷時は時刻設定がされておりません)

2 商品構成一覧

※ 製品購入の際、本体及び下のような付属品付属品が付含まれていない場合、製品購入先にお問い合わせください。



3 車両設置方法



製品設置の前に下記の内容を熟知してください。

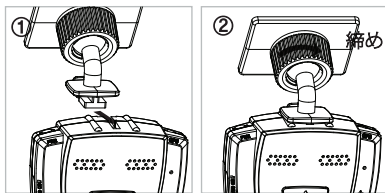
- 安全な製品設置のため説明書を十分に熟知してから設置してください。
- 製品設置前に必ずエンジンを止めて、車両の鍵を抜いた後、取り付けてください。
- 付属品の12V～24V車用電源ケーブル以外に他のケーブルは使わないでください。
- 録画画質を向上させるためには製品が取り付けられたガラス面をいつもきれいにしてください。
- 録画場所及び光源の灯かりが急変する場合、録画映像の画質に違いがあります。
- 車両の前面ガラスに濃いコーティングやメタル材質のコーティングが施行された車両は映像が暗く録画されることがあります。



走行途中で製品が外される場合、交通事故が発生する場合がありますのでガラス面の異物及び埃をきれいに除去した後、しっかり取り付けてください。

1 本体とブラケットの結合及び分離

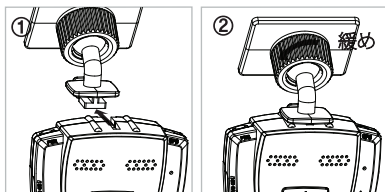
始めにGPSアンテナにブラケットをスライドINしてください。



結合

1. ブラケットと製品の結合部分をよく合わせて製品を前方へ押し入れます。
2. スタンドの四角模様と本体の四角い模様が一致するまでおくまで押し入れます。
3. 角度調節レバー右に回してブラケットを固定します。

*先に、スタンドを付着してから本体を結合しても構いません

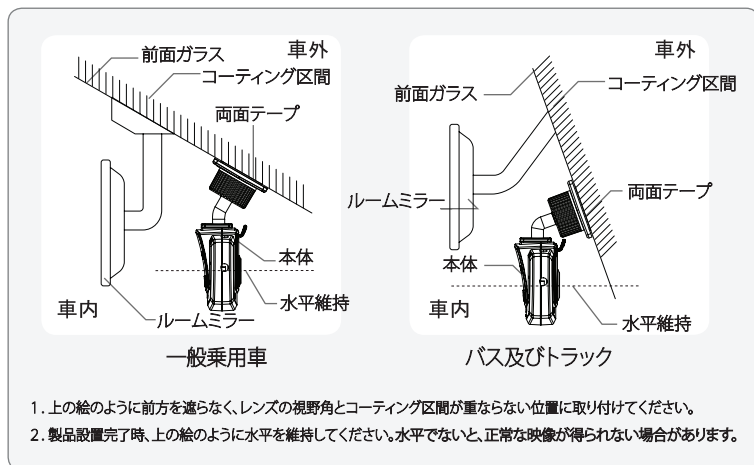


分離

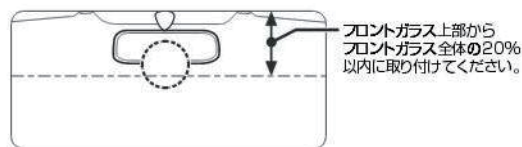
- ①、② 二つの分離方法があります。
- ① 結合方法と反対の順番で、結合部分を後方へ引っ張って分離します。
- ② ①番の方法で分離が容易でない場合は、角度調節レバーを左側に回してブラケットを分離します。

3 車両設置方法

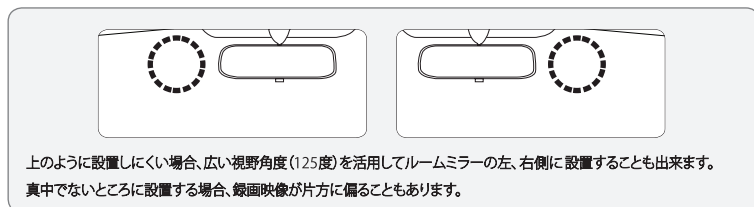
2 車両設置



3 推奨設置位置



ルームミラーの前方、前面ガラスの真ん中に設置すると最適な映像が録画されます。



3 車両設置方法

4 配線方法

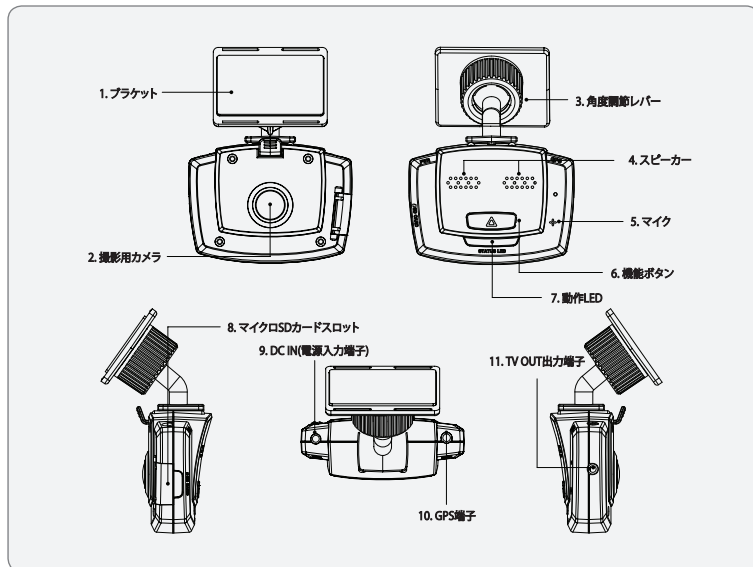
1. 常時電源ケーブルを接続する場合

- 常時電源ケーブルは、3つのケーブル(赤、黄、黒)に構成されています。
 - 赤 : バッテリー
 - 黄 : アクセサリー
 - 黒 : アース(グラウンド)
- 配線時は、自動車のヒューズボックスを開けてバッテリー電源側(ルームランプやラジオ、オーディオ等)に赤色のケーブルを接続し、ACC電源に黄ケーブルを接続します。なお、黒ケーブル(アース)は車体の金属部分に連結した後、本体に電源ジャックを接続します。
- この場合、エンジンがOnの場合に常時録画を開始し、エンジンOff時には駐車録画に入り、モーション検知または衝撃感知時に録画をします。
- 駐車録画を必要としない場合、赤ケーブル(バッテリー)を接続せず、黄ケーブル(アクセサリー)と黒ケーブル(アース)のみ配線を行ってください。

2. シガー電源ケーブルを接続する場合(別売品)

- 本体上方の連結端子にDC電源ジャックを連結した後、車両内部のシガージャックソケットにシガー電源ジャックを差し込みます。
- ゴミやホコリなどを取り除き、奥までしっかり差込んでください。

4 各部名称及び機能



- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1. ブラケット | 前面ガラス付着用スタンド(両面テープ含む) |
| 2. 撮影用カメラ | 1.5M CMOSカメラ |
| 3. 角度調節レバー | 製品の角度調節レバー |
| 4. スピーカー | 各種警告音出力スピーカー |
| 5. マイク | 音声録音用マイク |
| 6. 機能ボタン | 緊急録画/ 録音On-Off/ SDフォーマット |
| 7. 動作LED | 製品の動作状態を表示するLED |
| 8. マイクロSDカードスロット | マイクロSDカード挿入用スロット |
| 9. DC IN(電源入力端子) | 12V~24V電源ケーブル連結端子 |
| 10. GPS端子 | GPSアンテナの接続ポート |
| 11. TV OUT出力端子 | 映像出力端子 |

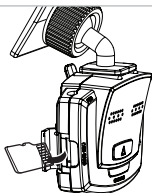
5 micro SDカードの挿入及び取り外し



micro SDカードを使う前に下記の内容を確認してください。

- micro SDカード使用時、必ず規格品のmicro SDカードのみ使用してください。規格品でないmicro SDカード使用時、データ損失の危険があります。
- micro SDカードの挿入は製品の電源ON/OFFにかかわらず可能です。挿入と同時に内部ソフトウェアをリセットした後、動作します。
- Micro SDカードの取外しは車両のエンジンを止めて動作LEDが消えるのを確認してから抜き出してください。(常時電源接続の場合は、駐車録画に切り切り替ってから抜き出してください)
電源が入ったまま取外す場合、録画映像の一部が削除され、場合によってはMicro SDカードが使えなくなる場合があります。

1 micro SDカード挿入方法



カード方向に留意して絵のように差し込みます。



内部から引っかかる感じがするまでカードを差し入れます。

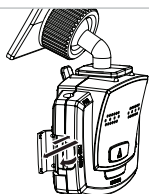


完全にカードを差し込みスロットの蓋を閉じます。



カードの方向に留意して最後まで押し入れてください。まともに差し込まない場合、破損及び誤動作の原因になることがあるため、カード接続端子は手で触ったりしないでください。
異物が付くとデータ損失の原因になります。

2 micro SDカード取り外し方法



スロットの蓋を開いてmicro SDカードを軽く押せばmicro SDカードが抜け出します。



まっすぐmicro SDカードを抜き取ります。



micro SDカードを抜き取った後スロットの蓋を閉じます。

6 使用方法



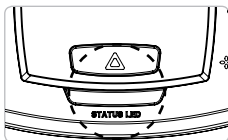
本製品を使用する前に下記の内容を必ずお読みください。

- 車両の運行中には絶対に操作しないでください。
- 走行録画中、micro SDカードが取外された場合、録画中の一部の映像が削除されることがあります。

1 電源ON/OFF

【常時電源配線】

エンジンを掛けると“駐車録画”から“走行録画”に自動で切り変わります。



電源On：起動時ピンク色のLEDが点灯してから点滅

GPS受信後、赤色LEDが点滅

電源Off：消灯

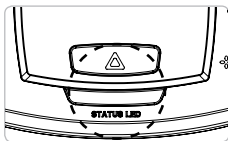
【アクセサリ配線】

1. 本製品は電源ボタンがありません。電源ケーブルが本体と繋がっている状態で車両のエンジンをかけると、動作LEDが点灯し、電源が入ります。電源が入り動作が始まると録画開始の音声ガイダンスが出ます。
2. エンジンを止めると自動的に内蔵バッテリーによって録画ファイルを保存し電源が消えます。

2 映像録画

設置及び配線を仕上げ、micro SDカードが差し込まれた状態でエンジンをかけると自動で電源が入り録画が始まります。

* 製品基本設計：常時+イベント(衝撃)モード(録画モードは環境設定にて変更可能、22ページ参照)



録画状態によってLEDの点灯方法が異なります。

- 常時録画：赤色が点滅します。
- イベント(衝撃)録画：赤/青色LEDが交互に点滅します。
- 緊急録画：赤/青色LEDが交互に点滅します。
- モーション録画：スタンバイ時、ピンク/青色LEDが交互に点滅します。
検知時、赤/青色LEDが交互に点滅します。

6 使用方法

録画モード及び時間

* 常時録画：衝撃発生に関わらず30秒ごとに常時録画します。

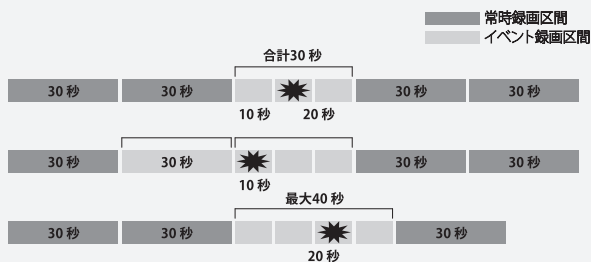
(設定は、ビューアにてGセンサー感度を“Off”にして、この設定情報をMicro SDカードに情報を読み込む)

30 秒 30 秒 30 秒 30 秒 30 秒 続き...

* 常時+イベント：常時録画とイベント録画を同時に行います。常時録画は共に30秒単位になりますが、イベント(衝撃)が検知された場合には録画途中の発生時点によりイベントファイルの録画時間が変わります。

例) 録画が始まってからイベントが生じた時点により、イベントフォルダーに保存されるファイルが変わります。

- 録画開始から11~20秒の間に発生： 該当ファイルのみイベントフォルダーに保存
- 録画開始してからすぐ発生： 以前のファイルと該当ファイルを一緒にイベントフォルダーに保存
- 21~30秒の間に発生： 該当ファイルにイベント発生時点から10秒間追加録画して保存



* ファイル時間は目安となります。

* 録画映像がMicro SDカードの容量を超える場合、古い映像から削除されながら録画します。

* 録画フォルダー毎の容量割合は下記の通りです。

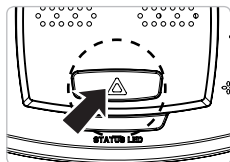
常時 : 70%
 イベント : 20%
 緊急 : 5%
 モーション: 5%

Ex) 16GB SDカードを使う場合

録画モード	フォルダ名	ファイル名	保存領域
常時録画	Normal	NOR_xxxx.avi	約11.2GB
イベント(衝撃)録画	Event	EVT_xxxx.avi	約3.2GB
緊急録画	Manual	Man_xxxx.avi	約0.8GB
モーション録画	Parking	PAR_xxxx.avi	約0.8GB

6 使用方法

3 機能ボタン



【緊急録画】

製品使用中(△)ボタンを短く押せば効果音が鳴り、手動で映像を録画します。
※本機能はイベント録画中には動きません。

【音声録音 On/Off】

製品使用中(△)ボタンを3~4秒程度押してから離すと音声ガイダンスが出ながら、音声録音 On/Offを切り替えられます。

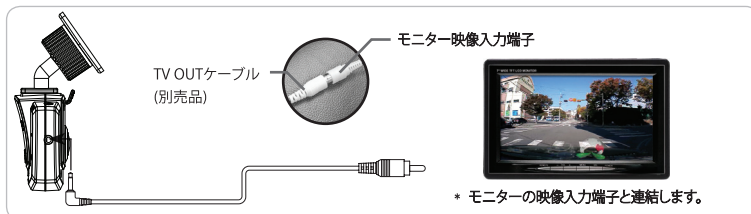
- 音声録音On：赤LEDが点滅(GPS非受信時はピンク色)
- 音声録音Off：赤LEDが早く点滅(GPS非受信時はピンク色)

【SDカードのフォーマット】

製品使用中(△)ボタンを10秒程度押してから離すと音声ガイダンスが出ながら、SDカードのフォーマットを行います。

4 リアルタイム映像確認

TV Outケーブル(別売品)を利用して車両用モニターに連結する場合、リアルタイムで録画映像の確認が出来ます。
(映像出力だけ可能/音声出力不可能)



* モニターの種類によって接続端子が違う場合があります。この場合、モニター側の交換ケーブルを別途購入して使用してください。

6 使用方法

5 音声ガイダンス詳細

No	区分	状態	音声メッセージ
1	システム 開始/終了	システム開始(電源On時)	走行録画を開始します。
2		システム再起動(非正常終了)	終了します。
3		システム終了(電源、Power Key)	終了します。
4	SDカード	SDカードなし	メモリカードがありません。
5		SDカード内データ読み込み不可	メモリカードにエラーがあります。
6		サポートしないSDカードの挿入時	メモリカードにエラーがあります。
7		SDカードフォーマット必要	メモリカードにエラーがあります。
8		メモリフォーマット	フォーマットを開始します。
9	録画関連	フォーマット完了	フォーマットが完了しました。
10		録画開始	走行録画を開始します。
11		緊急録画	効果音
12		イベント録画	効果音
13		駐車モードに転換	駐車録画を開始します。
14		モーション録画	効果音
15	録音	録画終了	終了します。
16		音声録音	音声録音を開始します。
17	FWアップグ レード	音声録音解除	音声録音を中止します。
18		FWアップデート進行	FWアップデートの準備中です。
19	GPS	アップデート完了	FWのアップデートが完了しました。
20		GPS 検知	GPSが繋がりました。
21	TV Out	TV Out設定	TV Outが設定されました。

※ FWはファームウェアの略称です。

6 LED点灯色詳細

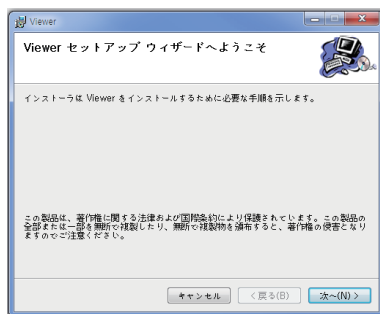
システム起動～終了一連動作(例)		LED点灯色				効果
		ピンク	赤	赤/青	ピンク/青	
1	エンジン/ACC ON	○				点灯
2	走行録画開始	○				点滅
3	GPS検知		○			点滅
4	衝撃検知または緊急録画			○		早い点滅
5	エンジン/ACC OFF			-		消灯
6	駐車録画開始				○	早い点滅
7	モーションまたは衝撃検知			○		早い点滅
8	エンジン/ACC ON	○				点灯
9	(駐車録画ファイル保存中)			-		消灯
10	走行録画開始	○				点滅
11	続く...					

7 専用ビューアー

1 専用ビューアープログラムインストール方法

専用ビューアープログラム動作環境

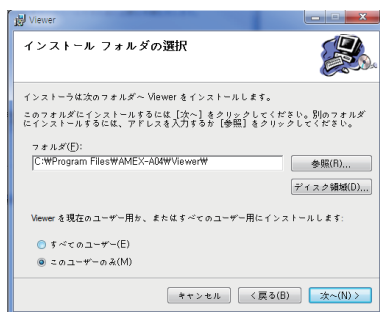
- CPU Pentium4以上
- OS Windows Vista以降
- メモリ 1GB以上
- HDD 4GB以上



プログラムCDをパソコンに挿入します。

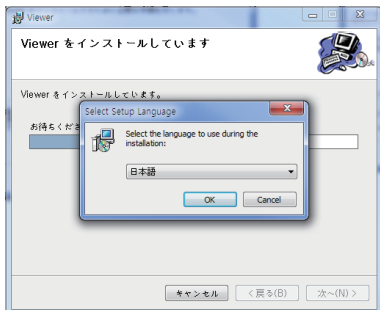
上記の画面が表示されると“次へ”をクリックします。

自動で起動しない場合、『Setup.exe』をダブルクリックしてください。



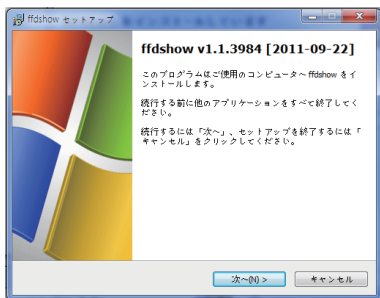
上記の画面が表示されるとインストールフォルダーを指定して“次へ”をクリックします。

7 専用ビューアー



ビューアーをインストールします。

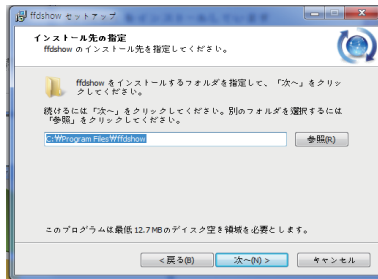
途中、言語選択画面が表示されますので、
“日本語”を選択して“OK”をクリックします。



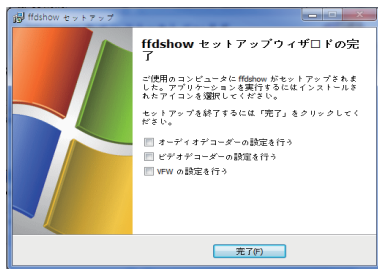
ビューアーをインストール途中に左図のように別のプログラムインストール画面が出ますが、そのまま“次へ”をクリックして進みます。
その後、別の画面が出ますが、そのまま“次へ”をクリックしてください。

注) このffdshowはcodecプログラムです。

7 専用ビューアー



Ffdshowのフォルダーを指定して"次へ"をクリックして進みます。



Ffdshowのインストールが完了すると、左図のような画面が表示され、"完了"をクリックします。



インストールが終了しましたので、"閉じる"をクリックします。
その後、デスクトップにビューアーのアイコンが生成されますので、
クリックするとビューアー画面が表示されます。

7 専用ビューアー

2 専用ビューアー使用方法

- 専用ビューアーアイコンをダブルクリックします。

専用ビューアーの画面



※ 始めに⑧ファイルオープンにて所定のSDカードやフォルダー(ファイル)を選択しビューア画面に読み込んでください。

① 再生画面	録画映像です。
② Gセンサー	3Gセンサーの動作及び再生位置を表示します。 X: 前後 Y: 左右 Z: 上下
③ 再生速度調節	再生映像の再生速度を調整できます。
④ 音量調節	再生の音量を調整できます。
⑤ ビューア再生	録画映像の選択や再生機能調整が可能です。
⑥ ダーグルマップ	走行当時の経路がマップに表示されます(インターネット接続時のみ)
⑦ 再生リスト	録画ファイルリストを表示、選択を行います。
⑧ ファイルオープン	SDカードや所定ファイルの読み込みを行います。
⑨ 環境設定	製品の詳細環境設定を行います。
⑩ 画面キャプチャ	再生中の録画ファイルをクリックした時点の静止画像を保存します。
⑪ バージョン情報	プログラムのバージョン情報を表示します。
⑫ メモリフォーマット	Micro SDメモリーカードをフォーマットします。
⑬ 画面最小化	画面を最小化します。
⑭ 画面最大化	再生画面を全画面に拡大します。
⑮ プログラム終了	プログラムを終了します。

7 専用ビューアー

3 専用ビューアー環境設定

- 環境設定  ボタンをクリックすると、下記のファイルが開き、各種設定が行えます。

※ 工場出荷時の設定は上記の通りです。

機能	詳細内容
1 車両情報の登録	ビューアのパスワードと車両番号の登録ができます。(数字のみ) (ビューアの最初パスワードは「0000」に設定されています)
2 映像画質の設定	録画する映像の画質を調整できます。
3 ビデオ方式の設定	ビデオ方式を設定できます(日本はNTSCです)。
4 音声録音設定	音声を録音するかしないかを設定できます。
5 外部機器への出力	外部機器へ映像を出力するかを決めます。
6 設定初期化	変更した設定情報を初期化します。
7 保存	設定した環境情報を保存します。
8 クローズ	設定した環境情報を反映せずに終了します。

7 専用ビューアー

環境設定

映像/音声 システム

音声ガイダンス

1 ☒ On ☐ Off

Gセンサー

2 6段階

3 モーション感度

4 8段階

5 バッテリー遮断電圧

6 3段階

7 バッテリー遮断時間

8 ☐ 4時間 ☐ 8時間 ☐ 12時間 ☐ 24時間 ☒ 48時間

9 ドラレコ時間設定

10 2015-08-28 08:54:33 適用

GPS時間設定

UTC +09:00 Asia/Japan

設定初期化 保存 クローズ

機能	詳細内容
1 音声ガイダンス	音声ガイダンスをOn/Off設定ができます。
2 Gセンサー感度設定	Gセンサーの感度を調整できます。
3 モーション感度設定	モーション感度を調整できます。
4 バッテリー遮断電圧設定	バッテリーの放電を防止するため、指定した電圧以下になるとバッテリーを遮断できます。
5 バッテリー遮断時間設定	指定した時間になると、バッテリー電圧を遮断します。
6 ドラレコ時間設定	GPSを使わない場合に直接現在の時間を設定できます。
7 GPS時間設定	タイムゾーンを設定できます。
8 設定初期化	変更した設定情報を初期化します。
9 保存	設定した環境情報を保存します。
10 クローズ	設定した環境情報を反映せずに終了します。

8 製品の仕様

区 分	仕 様
カメラ	1.5 Mega Pixel CMOSカメラ (画角：対角125°、水平90°、垂直50°)
解像度	1280x720, 640x480
Gセンサー	3軸加速度Gセンサー内蔵
GPS	外付けGPSモジュール
ビデオ圧縮方式	H.264
録画CH数	1CH
録画画質	高画質 / 標準画質 / 低画質
録画フレーム	30Frame
非常用電源	バッテリー搭載(60mAh)
映像出力方式	NTSC/PAL方式
音声録音	マイク内蔵(On/Off)
音声案内	スピーカー内蔵(日本語音声ガイダンス)
グーグルマップリンク	連動(GPS検知及びインターネット接続時)
記録媒体	Micro SD 16GB / Class10 (推奨メディア左記以上のもの)
専用ビューア	有り(PW初期値:0000)
電源入力	DC12V~DC24V (消費電流は約200mA)
動作温度	-20℃ ～ 60℃
動作湿度	10%～80%
重量	約30g
寸法	65(W) x48(H) x 28(D)mm

※ PWIは/パスワードの略称です。

9 Q&A 故障かなと思ったら…

電源が入らない	ケーブルは正しい位置に配線されておりますか。 電源ケーブルのヒューズは切れておりませんか。
起動時間が長い	microSD カードのデータ容量によっては起動時間が長くなる場合があります。
録画が開始されない	microSD カードは正しく挿入されておりますか。 microSD カード内のデータエラー及びファイル破損の可能性があります。 フォーマットを行ってください。
衝撃に対し敏感に反応する	3 G 衝撃センサー感度によって調整をしてください。 (専用ビューア経由で設定情報を取り込む)
衝撃に対し鈍感で反応しない	3 G 衝撃センサー感度によって調整をしてください。 (専用ビューア経由で設定情報を取り込む)
再起動を繰り返す	micro SD カードは正しく挿入されておりますか。 micro SD カード内のデータエラー及びファイル破損の可能性があります。 フォーマットを行ってください。
GPS情報が取得できない	アンテナケーブルは正しい位置に接続されておりますか。 トンネル内や室内では取得できません。 見通しの悪い場所では取得するまでに時間が掛かります。 アンテナケーブルの抜き差し、及び本体の再起動を行ってください。
SDカードエラー	フォーマットを行ってください。 規格品以外のカードを使用している場合、推奨しているスペックを担保しますか。 フォーマットができない場合は、メディア故障が考えられますので、他のカードで 再度試してみてください。

保証規定

保証期間内(ご購入から1年間)に取扱説明書に従った使用状態で故障した場合、無料修理させていただきます。
本書を添えてお買い上げ販売店へ修理をお申し付けください。

有償修理

- 使用上の過ち、製品を改造した場合、当社指定のメンテナンス店以外の所で修理を受けた場合。
- 購入後、運送、移動、落下などに余ったの故障及び損傷
- 火災、地震、水害、公害、異常電圧、指定以外の電源(電圧、周波数)及び其の他天災地変などによつての故障及び損傷
- 保証書の提示がない場合。
- 保証書の指定事項の未記入、または字句を書き替えられた場合。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。

保証、メンテナンスに関して

- 保証期間は購入日から1年です。
- 消耗品(SDカード)は保証外となります。
- 保証書は必ず「購入日、販売店」などの記入を確認してから販売店から受け取って頂き、内容をよく読んだ後保管してください。
- 修理を依頼するときはまず配線の状態及び操作方法に間違いはないかよく点検してください。それでも異常がある場合、修理を依頼してください。
- 保証期間以内:保証書を販売店に提示してください。保証書の記載内容を基にして修理させていただきます。
- 保証期間が経過した場合:購入の販売店にお問い合わせください。

保証書

お引渡しの日から下記保証期間中に故障が発生した場合、本書を添えてお買い上げ販売店へ修理をお申し付けください。
本製品の取扱書に従った使用状態で故障した場合、無料修理させていただきます。保証規定によって無(有)料で修理させていただきます。

*下に記入されていない場合には無効となりますので製品保証書をお受け取りになる時に、保証期間・販売店などが記入してあることを確認してください。

商品名					
保証期間	購入	年	月	日	から1年間
顧客名					
販売店				電話番号	
住所					



MEMO



INSTRUCTION MANUAL

